



H4.4 枚方市立保健センターに配属
健康部 保健所 保健予防課
健康福祉部 地域健康福祉室
等を経て
R4.4.1 現職
(部署名は当時)

「やりたいことはする！」を大切に

現在の仕事内容とやりがい

母子保健課では安心して子育てをしていただけるよう、母子手帳交付や乳幼児健診、予防接種や様々な教室等を通じて情報提供や相談、家庭訪問などの支援を行っています。

保健師としてこの仕事でやりがいを感じることは、妊娠、出生されたほぼ全員の市民の皆さんとお会いできること。そして出会った市民ひとりひとりに寄り添った支援ができることです。妊娠・出産、子育てという人生に大きくかわるライフイベントの中で、支援をした方から、十年以上もたって成長されたお子様のご様子等をお伝えいただくことが時折あります。その時は保健師冥利に尽きる思いです。

現在は現場から離れています。職員が、市民に寄り添った支援ができるよう、支えています。

枚方市の受験を 考えている皆さんへ

枚方市では多くの女性職員が働いています。それぞれのライフイベントの中でも仕事を続けることができる体制が整っています。あなたも私たちと一緒に働きませんか。

キャリアについて

「保健師」として、健康の視点から市民の皆様へ寄り添った支援を行いたいと思いつきました。

管理職については全く考えておらず、日々の仕事の経験が役立てばと考えていましたが、仕事というものは、現場で直接市民の方に接する人、それを支える人、関係する人等多くの立場の人で成り立っていることを実感し、私自身もその中で、関わる多くの人をつなぎ、仕事をしやすい環境を整えていく役割を担うことができればと考えています。



ワーク・ライフ・バランス実践 のコツ

毎週末のママさんバレーが一番の楽しみ。20年前に市民の方に「保健師さん、運動してないの？」と言われたことをきっかけに始めましたが、今では欠かすことができないものになりました。他にも家庭菜園の野菜や果物が育っていくのも楽しいですね。

基本的には「やりたいことはする！」これが生活の中で大事にしていることです。一日の中で仕事の時間は長くなりますが、やりたいことのための時間は必ずつくるようにしています。